

# 利用契約書・重要事項説明書

(成人用)

＝生活介護＋短期入所＋居宅介護＋重度訪問介護＋行動援護＝  
＝日中一時支援＋移動支援＝

特定非営利活動法人 さわおとの森

多機能サポートランド さわおとの森

# 利用契約書

\_\_\_\_\_（以下「利用者」という。）と特定非営利活動法人さわおとの森（以下「事業者」という。）は、多機能サポートランドさわおとの森が利用者に対し提供する障害者自立支援法に基づく「生活介護のみ」「短期入所」「居宅介護」「重度訪問介護」「行動援護」「日中一時支援」「移動支援」（以下、指定障害福祉サービス等という）について、次のとおり契約します。

## （契約の目的）

第1条 この契約は、障害者自立支援法等関係法令の理念にのっとり、利用者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、事業者が個別支援計画に基づき利用者に対して必要なサービスを適切に行うことを定めます。

## （契約期間）

第2条 この契約の期間は、受給者証の支給決定期間と同じとし、利用者と事業者双方から申し出がない場合は、そのまま自動更新といたします。

## （個別支援計画）（※短期入所と日中一時支援は該当しません）

第3条 事業者は、利用者の置かれている環境及び日常生活全般の状況等を通じて利用者が希望する生活や課題等の把握を行い、適切な支援内容を検討し、個別支援計画を作成します。

2 事業者は、個別支援計画の内容について利用者又はその家族に対して説明し、文書により同意を得ることとします。

3 事業者は、個別支援計画作成後、実施状況の把握を行い、少なくとも6ヶ月に1回以上個別支援計画の見直しを行い、必要に応じて個別支援計画の変更を行います。変更については利用者又はその保護者に説明をし、文書により同意を得ることとします。

## （事業の主たる対象とする障害の種類とサービス内容）

第4条 事業者は、下記の主たる対象とする障害種別の利用者に対して、同じく別紙「重要事項説明書」に記載しているサービス内容を提供します。

- （1） 知的障害
- （2） 身体障害
- （3） 精神障害（発達障害も含む）

2 前1項の主たる利用者の中でも、高度の医療ケアが必要な方を除くこととします。

## （利用料金）

第5条 利用者は、別紙「重要事項説明書」に記載する指定障害福祉サービス等の給付費に対して、利用者負担額（厚生労働大臣の定める基準により算定した費用の額から給付費の額を控除した額。「受給者証」に記載されている負担上限月額が、利用者の1月の負担の上限額となります。）を事業者を支払います。なお、給付費の額については、事業者が市町村から代理受領いたしますので、利用者が直接支払う必要はありません。

2 利用者は、別紙「重要事項説明書」に記載する給付費対象外サービス（実費）に対して、所定の料金を事業者を支払います。

3 事業者は、サービス利用に当たって、あらかじめ利用者に対しサービスの内容及び料金について説明を行い、利用者の同意を得ることとします。

## （利用料の支払い方法）

第6条 利用者は、前条第1項及び第2項に定める額の合計額（以下「利用料金」という。）を月

ごとに事業者に支払います。

- 2 事業者は、利用料金に係る請求書を、別紙「重要事項説明書」に記載されている期日までに利用者に送付します。
- 3 利用者は、請求があった利用料金について、別紙「重要事項説明書」に記載されている期日までに事業者に支払います。
- 4 事業者は、利用者から利用料金の支払いを受けた時は、利用者に領収証を交付します。

#### (説明義務)

第7条 事業者は、契約に基づく内容について、利用者の質問等に対して適切に説明を行います。

#### (安全配慮義務並びに事故発生時の対応)

第8条 事業者は、サービスの提供にあたって利用者の生命、身体の安全確保に配慮します。

- 2 事業者は、利用者に対するサービスの提供により事故が発生した場合は、速やかに都道府県、市町村、利用者の保護者等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じるものとする。

#### (緊急時の援助)

第9条 事業者は、利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに嘱託医（協力医療機関）又は利用者の指定する医療機関への連絡を行う等の必要な措置を講じます。

- 2 前項のほか、事業者は、利用者の心身の状態が変化した場合は、保護者及びその保護者が指定する者に対し緊急に連絡します。

#### (虐待の防止のための措置に関する事項)

第10条 事業者は、利用者に対する虐待を早期に発見して迅速かつ適切な対応を図るために、次の措置を講じるものとします。

- (1) 虐待の防止に関する責任者の選定
- (2) 苦情解決体制の整備
- (3) 従業者に対する虐待の防止を啓発・普及するための研修の実施

#### (秘密の保持)

第11条 事業者は、業務上知り得た利用者やその家族等の秘密を保持します。

- 2 事業者は、学校並びに他の指定通所支援事業者・指定障害サービス事業者等に対し、利用者に関する情報を提供する際は、あらかじめ文書により利用者又はその保護者の同意を得ることとします。

#### (苦情解決)

第12条 利用者及びその保護者は、事業者が提供するサービスに関して、いつでも別紙「重要事項説明書」に記載する苦情受付窓口に苦情を申し立てることができます。

- 2 事業者は、苦情が申し立てられた場合、速やかに事実関係を確認し、改善の必要性及びその方法等について、利用者又は家族に文書で報告します。
- 3 事業者は、利用者及びその家族が苦情を申し立てたことを理由として、利用者に対し、不利益となるような対応はしません。

#### (契約の終了)

第13条 利用者は、30日以上予告期間をおいて文書で事業者に通知することにより、この契約を解除することができます。

- 2 前項にかかわらず、事業者が次の各号に該当する行為を行った場合には、利用者はただちにこの契約を解除することができます。

- (1) 事業者が正当な理由なく契約に定めるサービスを実施しない場合
  - (2) 事業者が第12条に定める（秘密の保持）に違反した場合
  - (3) 事業者が社会通念に逸脱する行為を行った場合
  - (4) 他の利用者が利用者の生命・身体・財物・信用を傷つけた場合もしくは傷つける恐れがある場合において事業者が適切な対応をとらない場合
- 3 事業者は、やむを得ない事情がある場合には、利用者に対し、30日間の予告期間において理由を示した文書で通知することにより、この契約を解除することができます。
- 4 前項にかかわらず、利用者が次の各号に該当する場合には、事業者はただちにこの契約を解除することができます。
- (1) 利用者が事業者を支払うべきサービスの利用料金を3ヵ月以上遅延し、相当期間を定めた催告にもかかわらず故意に支払わない場合
  - (2) 利用者が、故意又は重大な過失により、事業者もしくはサービス提供職員に生命・身体・財物・信用を傷つけることなどによって、契約を継続しがたい重大な事情を生じさせ、その状況の改善が見込めない場合
  - (3) 利用者及びその保護者が、契約締結時にその心身の状況及び病歴等の重要事項について、故意にこれを告げず、又は不実の告知を行い、その結果本契約を継続しがたい重大な事情を生じさせた場合
  - (4) 利用者がこの契約を継続し難いほどの背信行為を行ったと認めた場合。
  - (5) 天災、災害その他やむを得ない理由により事業所を利用させることができない場合。
  - (6) 利用者が連続して3ヶ月を超えて医療機関に入院すると確実に見込まれる場合又は現に連続して3ヶ月を超えて入院した場合
  - (7) 利用者が死亡した場合。

#### (損害賠償)

- 第14条 事業者は、サービスの提供によって事故が発生した場合は、速やかに関係市町村及び利用者の家族などに連絡を行うとともに、必要な措置を講じます。
- 2 事業者は、利用者に対するサービスの提供により、賠償すべき事故が発生した場合は、速やかに損害賠償するものとします。
- 3 事業者は、自己の責に帰すべき事由がない限り、損害賠償責任を負いません。とりわけ以下の各号に該当する場合には、事業者は損害賠償責任を免れます。
- (1) 利用者及びその保護者等が、契約締結時に利用者のその心身の状況及び病歴や行動障害等の重要事項について、故意にこれを告げず、又は不実の告知を行ったことにもつぱら起因して損害が発生した場合。
  - (2) 利用者の急激な体調の変化等、事業者の実施したサービスを原因としない事由にもつぱら起因して損害が発生した場合。

#### (協議事項)

- 第15条 この契約に定められていない事項について問題が生じた場合には、事業者は児童福祉法並びに障害者自立支援法等の関係法令の定めるところに従い、利用者との誠意をもって協議するものとします。

#### (その他)

- 第16条 今後障害者自立支援法の名称が変わった場合、法の内容に大幅な変更がなかった場合に

限り本契約書の障害者自立支援法を新たな名称に置き換えることとします。

上記の契約を証するため、本書2通を作成し、利用者、事業者が記名捺印のうえ、各1通を保有するものとします。

**契約支給量**

**変更**

**変更**

契約日 サービス名	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	契約支給量	契約変更支給量	契約変更支給量
生活介護のみ			
短期入所			
居宅介護			
重度訪問介護			
行動援護			
日中一時支援			
移動支援			
上限管理事業所			

**事業者**

事業者名 特定非営利活動法人さわおとの森  
 多機能サポートランドさわおとの森  
 事業者住所 宮城県宮城郡利府町沢乙字欠下東18番2  
 代表者氏名 園長 高橋 繁夫 印

**契約者**

住 所 \_\_\_\_\_  
 氏 名 \_\_\_\_\_ 印  
 保護者・立会人 \_\_\_\_\_ 印

# 重要事項説明書

当事業所は、利用者に対して上記事業を提供する上で、事業所の概要や提供されるサービスの内容、契約上ご注意頂きたいことを次の通り説明いたします。

## 1. 事業者

- (1) 法人名 特定非営利活動法人 さわおとの森
- (2) 法人所在地 宮城県宮城郡利府町沢乙字欠下東18番2
- (3) 電話番号 022-767-4338
- (4) 代表者氏名 理事長 清野 精維
- (5) 設立年月日 平成17年10月17日

## 2. 事業所の概要

- (1) 事業所の開始日 平成18年4月1日
- (2) 事業内容

### 障害福祉サービス

- ・生活介護わのみ (宮城県指定 第0412610032号)
- ・短期入所 (宮城県指定 第0412610032号)
- ・居宅介護 (宮城県指定 第0412600025号)
- ・重度訪問介護 (宮城県指定 第0412600025号)
- ・行動援護 (宮城県指定 第0412600025号)

### 市町村地域生活支援事業

- ・日中一時支援
- ・移動支援

※実施市町村は【別表2】市町村地域生活支援事業利用料金表に記載されている市町村

- (4) 事業所の名称 多機能サポートランド さわおとの森
- (5) 事業所所在地・電話・FAX番号 事業者と同じ
- (6) 事業所長(管理者、園長)氏名 高橋 繁夫
- (7) 当事業所の運営方針

利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導訓練を行うことを中心とし、なおかつ保護者等の育児や介護軽減等をも図るサービスを多機能で実施致します。

## 3. 職員数・勤務状況

当事業所では、各事業を提供する職員として、全体で以下の職種の職員を配置しています。なお、職員の配置については、児童福祉法と障害者自立支援法の指定基準を遵守しています。

〈職員数〉

理事長	1名	法人総括責任者
管理者(園長)	1名	事業所内の事業すべてを兼務

生活介護 わのみ	サービス管理責任者	1名	
	生活支援員	7名	うち短期入所当直と居宅介護等兼務1名
	看護師	2名	兼務
	専門職	1名	作業療法士
居宅 介護	サービス提供責任者	1名	
	介護福祉士等	4名	短期入所当直兼務4名
事務員	2名		
調理員	2名		短期入所及びわのみの専属調理員
業務員	1名		園内外清掃と利用者支援補助

※上記の職員数は、利用人数及び事業を進める上で変動する場合があります。

#### 4. 事業所の施設設備の概要

当事業所の施設設備の概要は以下のとおりです。(木造2階建)

居室・設備の種類	数	備 考
指導訓練室	1室	1階48㎡
居室(1人部屋)	3室	1階8㎡2室、2階12㎡1室
居室(2人部屋)	4室	1階16.5㎡1室、2階16㎡2室
食堂	1室	1階32㎡1室、リビングと兼用
厨房	1室	1階12㎡
浴室	2室	1階5㎡1室、2階3.3㎡1室
洗面室	2室	1階5㎡・洗濯室・脱衣室と兼用、2階4㎡・脱衣室と兼用
トイレ	3室	1階12㎡1室と4㎡1室、2階1.5㎡1室
理事長・園長室	1室	2階16㎡、相談室と兼用
事務室	2室	2階24㎡2室

このみ棟(木造一部2階建)

第1訓練・作業室	1室	1階46.37㎡
第2訓練・作業室	1室	1階20㎡
トイレ	2室	1階4㎡、男女別
居室	2室	2階12㎡、10㎡
納戸	1室	2階12.5㎡

※上記は、厚労省が定める基準により必置が義務づけられている施設・設備です。この施設・設備の利用にあたって、ご契約者に特別にご負担いただく費用はありません。

#### 5. 事業所が提供するサービス内容

##### (1) 生活介護わのみ

常時介護を必要とする障害者に対し、日中において入浴、排せつまたは食事の介護、創作的活動または生産活動の機会を提供するサービスです。

- ① 営業日 月曜～金曜、ただし、お盆中3日と、12月30日から1月3日と、国民の祝日と、臨時休業日を除く
- ② 営業時間 9:00～17:00

③ サービス提供時間 9:30~16:00

④ 定員 15名

⑤ 通常の事業の実施地域

事業所の通常の事業の実施地域は、宮城郡、塩釜市、多賀城市、黒川郡、仙台市宮城野区、仙台市泉区で、尚且つ概ね送迎が片道30分程度以内とします。なお、家族が送迎を行うものについてはこの限りではありません。

⑥ 日課 9:30~ 登園  
10:00 健康チェック・茶話会  
10:30 午前活動  
12:00 昼食  
13:30 午後活動と入浴サービス（希望者のみ）  
16:00 降園

⑦ 活動

生活介護計画に基づき、入浴、排せつまたは食事の介護、創作的活動または生産活動等の機会を提供いたします。

⑧ 工賃支払い

生活介護の活動の中で、利用者が生産活動に従事した場合、生産活動にかかる事業の収入から生産活動にかかる事業に必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃としてお支払いいたします。

⑨ 昼食・おやつの提供及び介助（ただし、おやつ代は別途いただきます。）

昼食並びにおやつの提供及び介助をします。

⑩ 入浴サービス（ただし、入浴に係る光熱水費は別途いただきます。）

入浴を希望する方に対して、家庭的な雰囲気のもとで入浴の支援を行います。

⑪ 送迎サービス

通常の事業の実施地域としますが、その他の地区についてはご相談いたします。

## （2）短期入所事業

保護者の都合や利用者の自立訓練的な理由で当事業所内での宿泊をお受けするサービスです。当事業所では、利用者が出来るだけ通常の日中活動（他の通所の障害福祉サービス等）の利用を崩さないでサービス提供を実施するために、できる範囲で送迎を行い家庭生活と同様に日中活動へ通っていただくことを基本といたします。

① 営業日 国民の祝日当日と、お盆中3日と、12月30日から1月3日と、臨時休業日を除く日

② 定員 11名

③ 日課 起床・洗面・着衣等 6:30~  
朝食 7:00~  
退園・入園（希望により日中活動への送迎実施、連泊時も同様）  
8:00~17:00  
他の日中活動に参加しない場合、活動・昼食等の提供  
余暇・入浴 17:00~  
夕食 18:30~



## ④ 日中活動

当事業所の生活介護のみを利用して日中活動支援を行う場合、そのまま終了後より翌日開始まで短期入所のサービスを提供することとなります。

## ⑤ 食事・入浴・排せつ・洗面・就床準備等

入所施設ではない家庭的な雰囲気のもとで、日常生活支援を提供いたします。また、自立訓練的に自分でできる部分は自分で行うことを基本とした指導的要素での支援もできる範囲で行います。

## ⑥ 送迎サービス

生活介護の通常の事業の実施地域としますが、その他の地区についてはご相談いたします。

(4) 居宅介護事業・行動援護・重度訪問介護・移動支援事業1) 共通事項

① 営業日 月曜～土曜、ただし、お盆中3日と、12月30日から1月3日と、国民の祝日と、臨時休業日を除く

② 営業時間 9:00～18:00

③ サービス提供時間 9:00～18:00、その他の時間はご相談に応じます。

## ④ 通常の事業の実施地域

事業所の通常の事業の実施地域は、宮城郡、塩釜市、多賀城市、黒川郡、仙台市宮城野区、仙台市泉区で、尚且つ概ね送迎が片道20分程度以内とします。それ以外の地域についてはご相談に応じます。

## ⑤ その他

通常の事業の実施地域以外に訪問する場合、移動に伴うガソリン代の実費を頂きます。

2) 居宅介護

## ① 身体介護

入浴介助・清拭・洗髪・排せつ介助・食事介助・衣服の着脱の介助・日中活動参加準備（学校や通所施設への出発に必要な準備介助）・通院介助・その他必要な身体介護を行います。

※ 医療行為はいたしません。

## ② 家事援助

調理・洗濯・掃除・買い物・その他関係機関への連絡など必要な家事を行います。

※ 預貯金の引き出しや預け入れは行いません。（預貯金通帳・カードはお預かりできません。）

※ 利用者以外の方の調理や洗濯、利用者以外の方の居室や庭等の敷地掃除は原則として行いません。

## ③ 通院介助・通院等乗降介助

自宅での通院準備や終了に伴う介助や行き帰りの乗降介助、病院内での受診・受薬等手続きを行います。通院の移動手段は公共交通機関の利用のほかヘルパー自らの運転する車両でも可能です。

なお通常病院内の受診中の介助はできません（受診中の介助は病院側で行うため）。

3) 行動援護

重度の知的障害や精神障害の方の社会体験や余暇活動を目的とした外出等に、危険を回避するために常時見守りが必要な方に対して援護を行います。なお、短期入所の放課後活動等とする場合もあります。

#### 4) 重度訪問介護

重度の障害があり常に介護が必要な方に対して、上記の身体介護や家事援助のほかに外出時の移動の補助も行います。

#### 5) 移動支援

比較的軽い知的障害等の方の社会参加型の外出時の付き添いを実施します。

#### (4) 日中一時支援事業のサービス内容

事業所内で、家族に代わり日中等一時的にお預かりするサービスです。

- ① 営業日 月曜～土曜、ただし、お盆中3日と、12月30日から1月3日と、国民の祝日と、臨時休業日を除く
- ② 営業時間 9：00～17：00
- ③ サービス提供時間 9：00～17：00、その他の時間をご相談に応じます。
- ④ 定員 2名程度
- ⑤ 日課 事業所内等での余暇や見守り支援、及び外出支援を行います。
- ⑥ 送迎サービス

送迎に伴うガソリン代等の実費を頂きます。(黒川郡は町村で決められている一部負担金を頂きます)

### 6. サービス利用料金

#### (1) 定率負担額 (1割相当)

その料金は【別表1】障害福祉サービス利用料金、【別表2】市町村地域生活支援事業利用料金のとおりです。

※ 利用者負担上限額管理加算とは

障害福祉サービスの定率負担額 (1割相当) には上限が定められており (【別表1の2】利用者負担上限月額のとおり)、1ヶ月にその上限を超えた場合は支払わなくてもよいこととなっております。その上限を管理する事業所として、利用者のご希望により当事業所を利用者負担額の上限管理事業所に選任され、尚且つ当園以外に他事業所を利用して連絡等を行った場合には、その加算額の1割相当をお支払いいただきます。

#### (2) 実費

定率負担額以外の、食材費・光熱水費・外出経費などの費用は給付費支給の対象ではありませんので、それに要した実費の料金を【別表3】実費料金表のとおりいただきます。なお、実費が多く発生する外出等の場合、その都度保護者へ説明を行い了解を得た場合に実施します。

#### (3) サービス利用料金のお支払い方法

サービス利用料金は1か月ごとに計算し、翌月末日までに請求書をお送りしますので、下記の方法でお支払いをお願いいたします。

ア. 口座振替 (利用翌々月27日に自動引き落とし、契約時等に手続きをお願いします。)

イ. 口座振込 (請求翌月20日まで振込みをお願いいたします。振込先は請求書へ記載します。)

ウ. 当事業所へ直接現金でのお支払い (請求翌月20日までにお支払い願います。)

## 7. 利用日のキャンセル・変更及びその料金

利用予定日の前に利用をキャンセル・変更することができます。この場合には利用予定日の前日12時までには事業者に出し出してください。利用予定日の前日12時以降に利用のキャンセル・変更の申し出をされた場合、キャンセル料として【別表4】キャンセル料の料金をお支払いいただく場合があります。但し利用者の健康上（体調不良等）やむをえない場合キャンセル料はいただきません。

なお生活介護のみにて、欠席時対応加算を算定した場合はキャンセル料は頂きません。

## 8. サービスの利用に関する留意事項

### (1) 受給者証の確認（利用契約書 第4条参照）

「住所」及び「支給量」「障害の程度による区分」など「受給者証」の記載内容の変更や更新があった場合はできるだけ速やかに本事業所従事者にお知らせください。また、本事業所従事者より「受給者証」の確認をさせていただく場合には、ご提示くださいますようお願いいたします。

### (2) 個人損害賠償保険への加入

利用者の過失による他害や物損の場合もあるため、出来れば個人損害賠償保険（AIU等）への加入をお願いいたします。

### (3) 受給者証の持参

短期入所利用時は、短期入所事業所実績欄に記載する必要がありますので「受給者証」を持参願います。

### (4) 看護（医療ケア）の必要な場合の医師の指示書等

看護の必要な利用者についてはできる範囲で看護師が対応しますが、その場合は主治医の指示書等の提出をお願いします。

## 9. サービス実施の記録について

### (1) サービス実施記録の確認

本事業所では、サービス提供ごとに実施日時及び実施したサービス内容などを記録したサービス提供書をその都度記録してお渡しいたします。ほか、日時を記録した実績記録票にもその都度押印をお願いいたします。なお、個別支援計画書及びサービス提供書、実績記録票は、サービス提供日より5年間保存します。

### (2) ご利用者の記録や情報の管理、開示について

本事業所では、関係法令に基づいてご利用者の記録や情報を適切に管理し、ご利用者の求めに応じてその内容を開示します。（開示に際して必要な複写料などの諸費用は、ご利用者の負担となります。）

## 10. 安全管理体制

(1) 本事業所では、下記の警備会社と契約を結んでおり、24時間防災・防犯体制を行っています。

警備会社 セコム株式会社

警備内容・火災報知機での警報・通知

- ・夜間の外部からの侵入警報
- ・非常呼び出しボタンでの警備員の駆けつけ
- ・非常時の職員連絡体制 等

(2) スプリンクラーと火災通報装置を設置して、火災に対して万全の態勢を取っております。

### 1 1. 損害賠償保険への加入（利用契約書第 1 4 条参照）

本事業者は、下記の損害賠償保険に加入しています。

保険会社名 オンワード マエノ

保険名 宮城県地域福祉総合保障制度

補償の概要 対人・対物の損害賠償責任限度額 1 億円等

### 1 2. 嘱託医（協力医療機関）

本事業所では、下記の病院に健康診断や非常時対応等の協力の確認を頂いています。

病院名 たかだこども医院（小児科） 院長：高田 修

住所 宮城郡利府町沢乙東 1-14 電話：022-767-6555

対応時間 平日 9:00~18:00（それ以外は救急車対応といたします）

※主治医がいる場合は、その連絡先を事前に把握して連絡といたします。

### 1 3. 苦情の受付について

#### (1) 本事業所における苦情の受付及びサービス利用等のご相談（お客様相談係）

サービスに対する苦情やご意見、利用料のお支払いや手続きなどサービス利用に関するご相談、利用者の記録等の情報開示の請求は以下の専用窓口で受け付けます。

○お客様相談係＜苦情受付窓口（担当者）＞ [職名] 主任 阿部 吉朗

○苦情解決責任者 [職名] 園長 高橋 繁夫

#### (2) 第三者委員

本事業所では、地域にお住まいの以下の方を第三者委員に選任し、地域住民の立場から本事業所のサービスに対するご意見などをいただいています。利用者は、本事業所への苦情やご意見は「第三者委員」に相談することもできます。

＜第三者委員一覧＞

名前	住所・電話番号・FAX
吉田 君子	法人正会員 住所：宮城郡利府町加瀬 電話：022-356-4361
袴田 洋子	法人正会員 住所：仙台市泉区松陵 電話：022-375-6642

#### (3) その他苦情受付機関

宮城県社会福祉協議会 「運営適正委員会」	所在地：仙台市本町 3 丁目 7-4 電話番号：022-212-3388・FAX 022-716-9298
宮城福祉オンブズネット 「エール」	所在地：仙台市青葉区片平一丁目 2-28 チサンマンション青葉通り 1005 号 電話番号：022-722-7225・FAX：022-722-7199

平成 年 月 日

多機能サポートランドさわおとの森 の提供の開始に際し、本書面に基づき重要事項の説明を行いました。

代表者名 園長 高橋 繁夫

説明者職氏名 職氏名 \_\_\_\_\_ 印

私は、本書面に基づいて事業者から重要事項の説明を受け、多機能サポートランド さわおとの森 の提供開始に同意しました。

利用者及びその家族 利用者 \_\_\_\_\_ 印

保護者・付添い人 \_\_\_\_\_ 印

## 【別表1】 障害福祉サービス利用料金表

※下記の表に地域区分として1.018を掛ける（切り捨て）

## ○生活介護事業（1日につき）

基 本	【変更】 区分6	1,278円
	【変更】 区分5	959円
	【変更】 区分4	680円
	【変更】 区分3	610円
	【変更】 区分2（50歳以上のみ）	559円
加 算	人員配置体制加算Ⅱ（利用者2.0人に対して職員1人配置）	181円
	【変更】福祉専門職員配置等加算Ⅰ（社会福祉士等を全従業員の中で3.5割以上配置）	15円
	【変更】常勤看護職員等配置加算	28円
	視覚・聴覚言語障害者支援体制加算	41円
	初期加算（最初の利用から30日までの加算）	30円
	訪問支援特別加算（連続5日間利用せず、家庭訪問により相談援助を行った場合。月2回まで）	(1) 1時間未満 187円 (2) 1時間以上 280円
	欠席時対応加算（月4回まで）	94円
	リハビリテーション加算	20円
	利用者負担上限管理加算（1月内の利用者負担上限管理を行った場合）	150円/月
	【変更】食事提供体制加算	30円
	延長支援加算（開所時間以外で支援した場合）	(1) 1時間未満 61円 (2) 1時間以上 92円
	【変更】送迎加算（片道につき、重度障害者が6割以上送迎を実施）	41円
	障害福祉サービス事業の体験利用時支援加算	300円
	【変更】福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	1月につき上記合計額に31/1000を掛ける
合計利用料金（1日）	円	



利用者負担上限額管理加算（1月内の利用者負担上限管理を行った場合）	150円/月
【新規】福祉専門職員等連携加算 （医療機関や事業所等の専門職と連携して居宅介護計画を作成、90日の間3回まで）	564円
福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	1月につき上記合計額に123/1000を掛ける
合計利用料金	円

### ○行動援護

【変更】利用時間	利用料	【変更】利用時間	利用料
0.5時間未満	253円	4時間以上4.5時間未満	1,472円
0.5時間以上1時間未満	401円	4.5時間以上5時間未満	1,619円
1時間以上1.5時間未満	584円	5時間以上5.5時間未満	1,767円
1.5時間以上2時間未満	731円	5.5時間以上6時間未満	1,915円
2時間以上2.5時間未満	879円	6時間以上6.5時間未満	2,063円
2.5時間以上3時間未満	1,027円	6.5時間以上7時間未満	2,211円
3時間以上3.5時間未満	1,175円	7時間以上7.5時間未満	2,360円
3.5時間以上4時間未満	1,323円	7.5時間以上	2,506円
加算	特定事業所加算（介護福祉士の職員が4割以上配置している場合等上記に加算）		10%加算
	初回加算（サービス提供責任者が最初に対応した場合）		200円
	緊急時対応加算（行動援護計画に基づかない緊急的な対応をした場合、月2回まで）		100円
	利用者負担上限額管理加算（1月内の利用者負担上限管理を行った場合）		150円/月
	福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	1月につき上記合計額に103/1000を掛ける	
合計利用料金	円		

### 【別表1の2】

### 利用者負担上限月額

区分	世帯の収入状況	上限月額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得1	市町村民税非課税世帯（年収80万円以下）	0円
低所得2	市町村民税非課税世帯（年収300万円以下）	0円
一般	市町村民税課税世帯（年収890万円以下）	4,600円
	〃（年収890万円より上など）	37,200円

【別表2】

市町村地域生活支援事業利用料金表

○日中一時支援事業（18才以上）

※今後市町村によっては、変更や終了もあります

区分	市町村 時間	利府町	大和町・大衡村	大郷町	富谷町	塩釜市・多賀城市 松島町・仙台市・名取市
1	4時間未満	123円	123円	123円	123円	94円
	4時間以上8時間未満	245円	245円	245円	245円	188円
	8時間以上12時間未満	368円	368円	368円	368円	282円
	12時間以上	490円	490円		490円	
2	4時間未満	148円	148円	148円	123円	159円
	4時間以上8時間未満	297円	297円	297円	245円	318円
	8時間以上12時間未満	445円	445円	445円	368円	477円
	12時間以上	593円	593円		490円	
3	4時間未満	206円	206円	206円	141円	177円
	4時間以上8時間未満	412円	412円	412円	281円	355円
	8時間以上12時間未満	618円	618円	618円	422円	532円
	12時間以上	824円	824円		562円	
4	4時間未満		※大衡村は12時間以上は無		156円	
	4時間以上8時間未満			312円		
	8時間以上12時間未満			468円		
	12時間以上			624円		
5	4時間未満				189円	
	4時間以上8時間未満				379円	
	8時間以上12時間未満				568円	
	12時間以上				757円	
6	4時間未満				223円	
	4時間以上8時間未満				445円	
	8時間以上12時間未満				668円	
	12時間以上				890円	
重心	4時間未満	600円	500円	500円	一律754円	
	4時間以上8時間未満	1200円	1000円	1000円		
	8時間以上12時間未満	1800円	1500円	1500円		
	12時間以上	2400円	2000円			
加算			送迎0円	送迎0円	送迎片道54円	

○移動支援（社会参加での外出付添い）

利用時間	身体介護を伴う	身体介護を伴わない
0.5時間未満	230円	80円
0.5時間以上1時間未満	400円	150円



1時間以上1.5時間未満	580円	225円
1.5時間以上2時間未満	655円	30分ごとに70円
2時間以上2.5時間未満	730円	
2.5時間以上3時間未満	805円	
3時間以上	30分ごとに70円	

午前6時～午前8時、午後6時～午後10時利用時は25%加算

○移動支援（グループで社会参加での外出付き添い）

大和町	グループ利用者個々に30分あたり50円
-----	---------------------

【別表4】

実 費 料 金 表

項 目	説 明	料 金
レスパイト	どの制度にも対応できない場合のお預かり（1時間あたり）	1000円
食事代①	短期入所等の食事提供体制加算対象者非該当の食事代	朝食480円 昼食590円 夕食620円
	生活介護の食事提供体制加算対象者非該当の食事代	昼食730円
食事代②	短期入所等の食事提供体制加算対象者該当の食事代	朝食260円 昼食350円 夕食390円
	生活介護の食事提供体制加算対象者該当の食事代	昼食310円
おやつ		80円
外食代・弁当代	外食のほかに、園で食べた昼食弁当等も含まれます	かかった費用
外出時の実費	マイクロバスを利用しての外出に関わる借り上げ代（1家族） ほかに入館料等の料金は実費とします。	500円
光熱水費	短期入所のための電気代・燃料代・水道代	1泊310円
そ の 他	利用者に負担いただくことが適当である諸費用	かかった費用

【別表5】

キャンセル料

○ 健康上によるもの ○ 利用予定日の前日12時まで申し出があった場合	無 料
○ 健康上以外で、利用予定日の前日12時以降に申し出があった場合	介護給付費の5割

※生活介護のみにて、欠席時対応加算を算定した場合はキャンセル料を頂けません。